

特別支援学級の学級編制基準の 改善を求める要請署名

【要請趣旨】

全国的に特別支援学級在籍者の児童生徒数が増え続け、2006年に10万4544人だった小中学校の特別支援学級在籍児童生徒数が、2016年には21万7839人と2.08倍となっています。一方、担当教員数は、3万8123人から6万1789人と1.62倍にとどまっています。また、在籍する児童生徒も、医療的ケアが必要な子ども、学年に沿った教科学習が可能な情緒障害の子ども、個別対応が常時必要な子ども等々、実態に大きな差があります。小学校の特別支援学級では1年生から6年生まで、中学校では1年生から3年生までが在籍しています。発達や生活年齢、学年に応じた指導が必要であるにもかかわらず、十分な対応ができないのが現状です。

多様な課題をもつ子どもを一人で担任し、授業準備と家庭との連絡、それぞれの学年行事やクラスの授業への付き添いなど、担当教員の負担は限界を超えています。しかし、1993年の第6次定数改善以来、特別支援学級の学級編制基準は1学級8名のまま変わっていません。

特別支援学級での教育を豊かに発展させるために、下記のことを要請します。

【要請事項】

1. 特別支援学級の学級編制基準を6名とすること。
2. 小学校では低学年と高学年で、中学校では学年ごとに学級編制をすること。

氏名	住所 (「同上」「//」は使わないで下さい)
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県

署名取り扱い団体

全日本教職員組合障害児教育部・教組共闘連絡会

〒102-0084 千代田区二番町12-1 TEL 03-5211-0123

(この署名は目的以外には使用しません)